

くらべる東西

くらべる日本_{東西南北}

今月紹介するのは「くらべる東西」。くらべるって言ってもそんなに違いがあるのかな？と思いつつページをめくると、「え...これって全国そうじゃなかったの...？」の連続。ずっと関西にいたのでそれが当たり前だと思ってしまうていたなあと気づかされます。見開きページをどーんを使って写真で比較しているので、見比べやすく、違いも発見しやすいです。コラムでは、同じものでもサイズが違うとか、同じ食べ物でも使う食材が違うとか、微妙な違いについても紹介。そうなるまでの東西の文化の違いなど、歴史的背景も勉強になります。やっぱりトーストは8枚切りのカリカリタイプより、4枚切りのふかふかがいいなあ…。近年は高級食パンブームなどもあって、関東でもふかふかのトーストがはやってますね♪

「くらべる東西」から2年、全国版の「くらべる日本 東西南北」が出版！テレビ番組などでも取り上げられていて有名なのですが、みなさんは「シャベル」と「スコップ」それぞれどんな形を思い浮かべますか？私は砂場で遊ぶ時に使っていたのはスコップ、畑仕事などでつかう四角いものがシャベル、という認識だったのですが、関東では真逆。本によると、工業規格の規定やメーカーの定義には「足をかけられるのがシャベル、足をかけられないのがスコップ」や「シャベルは掘るもの、スコップはすくうもの」というものがあるため、これに従えば関西の使い方が正しいのでは、ということでした。たしかに、スコップケーキ（スポンジケーキやクリームを敷き詰めたやわらかいケーキ）はナイフではなく大きめのスプーンで取り分けるよなあ、とか、ショベルカーとシャベルは語源が一緒なのかなあ、とか考えてちょっと楽しくなりました。知らなかったのは路面に書かれている「止まれ」の白い文字。これは写真を見比べる価値があります！「止ま」まではちょっとした差なのですが、「れ」が完全に違う！大阪の「れ」は兵庫や滋賀では使われていますが、京都は東京の「れ」だそう。これこそ全国で統一されていると思っていたので驚きました。ほかにもたくさん日本各地のいろいろなものが比較されていて、思わぬ名物や文化の発見に驚かされます。この本片手に各地を旅してみるのもおもしろそうだなあと思いました。図書館には「くらべる世界」「くらべる値段」「くらべる時代 昭和と平成」もあるので、ぜひ見てみてくださいね♪

おかべたかし

1972年京都府生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。出版社勤務後、ライター・著述家・編集者として活動。著書に『目でみることば』『基礎教養 日本史の英雄』など。

山出高士

1970年三重県生まれ。梅田雅揚氏に師事後、1995年よりフリーランスカメラマン。2007年よりスタジオ「ガムスタ」を構え雑誌媒体やポスターなども手がける。